

但馬におけるウスバシロチョウの新産地

木下 賢 司*

但馬におけるウスバシロチョウの分布については、山本(1978)が、詳しく報告している。筆者は新たに、竹野川と佐津川流域および、出石川上流域にも本種が発生していることを確認したので、報告する。

なお、今回の調査でも、山本(1978)が指摘している円山川東部の分布の空白地帯を埋めることができなかった。円山川東部に本種は棲息するのか、しないのか、また、もし棲息しないなら、それはどんな理由によるものか。興味ある問題として、今後の但馬むしの会の課題の一つとしたい。

竹野川流域 (図1参照)

1981, 5, 25	竹野町東大谷	(多い)
〃	〃 金原	(少ない)
〃	〃 河内	(少ない)
〃	〃 門谷	(少ない)
〃	〃 桑野本	(少ない)
〃	〃 ニッ家	(少ない)
〃	〃 三原	(非常に多い)
〃	〃 河南谷	(非常に多い)

いずれの地でも集落周辺にのみ多く、集落を外れるとあまり見かけない。また、数は上流に行くほど多く、支流にあたる東大谷、金原の例外を除いて、河内より下流の地域では見ることはなかった。

佐津川流域 (図1参照)

1981, 5, 25	香住町土生	(少ない)
1981, 5, 27	〃 本見塚	(非常に少ない, 1 匹を見たのみ)
〃	〃 畑	(やや多い)
〃	〃 大碓	(やや多い)
〃	〃 三川	(非常に多い)

佐津川流域でも、上流ほどその数は多く、いずれも集落周辺に多い。

* 現住所 〒668 豊岡市

出石川上流域 (図2参照)

1981, 5, 22 但東町大河内 (やや多い)

集落を中心に見られる。竹野川や、佐津川方面の個体と比較して、明らかに白化の傾向が認められる。

なお、大河内から峠を越えた福知山市上佐々木でも、本種は普通に見られた。

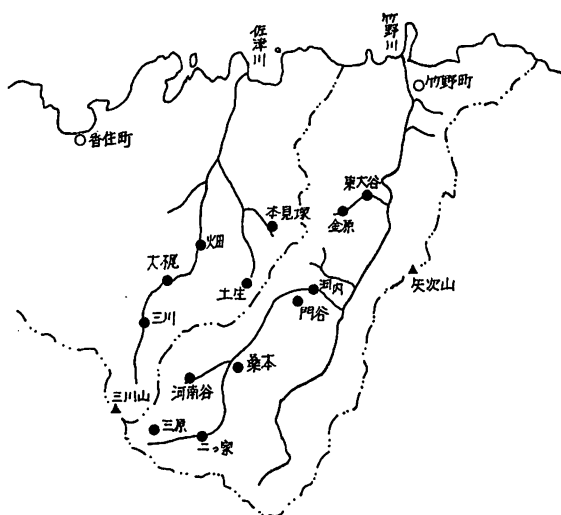


図1. 竹野川および佐津川流域におけるウスバシロチョウ産地



図2. 出石川上流域におけるウスバシロチョウ産地

参考文献

山本広一 (1978), 兵庫県のスバシロチョウ, 昆虫と自然13(7): 30-33